

事務局報告

第1回学会賞・奨励賞

日本植生史学会表彰規定(2002年11月17日制定)に則って、学会賞および奨励賞の審査委員会を設置し、審査を行った。その結果、第1回学会賞に以下の1名の会員を、また奨励賞に以下の1件の論文を推薦することにした。

第1回学会賞 受賞者：鈴木三男

第1回奨励賞 受賞論文：吉田圭一郎・岡 秀一「小笠原諸島母島石門地域に残存する伐根から推定されるオガサワラグワの生態的特徴」植生史研究 第9巻：21-28。

第1回学会賞・奨励賞受賞者推薦理由(日本植生史学会学会賞・奨励賞審査委員会委員長 辻 誠一郎)

第1回学会賞

推薦理由：鈴木三男氏は、日本植生史学会の前身である植生史研究会の創設に発起人の一人として貢献され、日本植生史学会への移行措置と組織整備においても中心的な役割を果たし、植生史学の発展に大きく貢献された。日本植生史学会は植生史学の発展と普及を目的としているので、これらの多大な貢献は植生史学への貢献でもある。

植生史学における研究領域は幅広く、木材組織解剖学を基本にしながら、1970年代以降は主として第三紀の木材化石研究、針葉樹の組織解剖学を、1980年代以降は遺跡から出土する木材遺体研究を展開してきた。とくに更新世・完新世の木材遺体研究は、木材遺体群から森林植生を復元する方法を開拓するとともに、年輪年代学の応用による森林古生態学の開拓を促進し、この方面の若手研究者の育成に尽力した。また、植物化石のDNA研究の開拓を行い、この方面でも若手研究者の育成をはかってきた。研究成果は、植生史研究をはじめとする学会誌のほか、遺跡の発掘調査報告書などに寄せられている。

教科書および普及書もあり、植物解剖学の普及では『植物解剖学入門(ポーラ・ルダル著、鈴木・田川訳)』(八坂書房)の訳書が、植物化石研究の総説では「植物の分布変遷と多様化」『多様性の植物学(1)植物の世界(岩槻・加藤編)』(東京大学出版会)などがある。また、遺跡出土の木材遺体研究を中心にした単行本『日本人と木の文化』(八坂書房)はこれまでの研究成果を分かりやすく概説している。

鈴木三男氏は、以上のように研究業績ならびに教育・普及における業績は膨大で、現在も東北大学において若手研究者の育成に尽力しており、植生史学への貢献は著しいものがある。よって論文・普及書など出版物を中心とした植生史学への貢献は学会賞に値するものと評価でき、受賞者

に推薦する。

第1回奨励賞

推薦理由：本論文は、小笠原諸島母島石門地域に現存する湿性高木林と、明治政府による本格的な開拓の影響を受けて伐採されていったオガサワラグワの同定にもとづく過去の復元植生を比較し、植生構造の歴史的な変化を具体的に明らかにしている。

この論文の大きな特徴は、これまでの埋没林研究と同様の手法によって、残存する伐根を材料にすることによって過去のオガサワラグワの分布様式や構造を復元し、伐採前のオガサワラグワの古生態を導き出すことに成功していることである。絶滅危惧種に指定されているため、現在の植生からオガサワラグワの生態を調べることはできないので、伐根に着目した調査はきわめて効果的であったといえる。十年から百年オーダーで起こっている植生の構造変化を捉える可能性を示したことも大きな成果である。

以上のように、本論文は、若手研究者の研究を奨励することを主旨とする奨励賞に値するものと評価でき、受賞者に推薦する。

第19回(2003年度第4回)幹事会議事要録

日時：2003年9月13日14:00～18:00

場所：国立歴史民俗博物館

出席者：辻会長、江口庶務幹事、斎木会計幹事、樋泉広報・渉外幹事、植村編集委員長、西田編集副委員長、寺田行事副委員長、清永行事委員

1. 第19期日本学術会議(第4部)の会員に町田洋氏が就任した。
2. 学会賞・奨励賞の審査方法における問題点と改善点が指摘され、これらの対応については次期幹事会に申し送ることとした。
3. 物故会員への対応について、名誉会員および元・現役員に対しては弔電を送ることとした。
4. 2004年度は会費値上げを見送り、その間に次年度値上げに向けて会員へ周知すると共に、長期滞納者の整理を行なう。
5. 海外在住会員の会費納入方法は、現在のところその近親者を通じて納入することで進める。
6. 第22回談話会は、3月末の一泊二日で、関東地域のポーリング野外実習の内容で検討する。
7. 第19回大会は2004年11月27日・28日に、西田治文氏・清永丈太氏を実行委員として開催する。

第20回(2003年度第5回)幹事会議事要録

日時:2003年11月29日9:10~10:45

場所:岡山理科大学 国際学術交流センター

出席者:社会長, 江口庶務幹事, 樋泉広報・渉外幹事, 植村編集委員長, 西田編集副委員長, 半田行事委員長, 寺田行事副委員長, 清永行事委員

1. 2003年度評議員会・総会での報告事項および審議事項を最終確認した。
2. 表彰規定の見直しを第4期幹事会で行なうこととした。
3. 次期役員任期を2年後の大会までとした。
4. 新入・退会会員名を会誌, ニュースレターで公表することとした。
5. 幹事会出席のための旅費は1回につき2万円を上限とする。
6. 役員名一覧を会誌, ニュースレターおよびホームページに掲載して広報する。
7. 次回の幹事会は2004年1月10日(土)14:00から国立歴史民俗博物館にて行う。

2003年度評議員会議事要録

日時:2003年11月29日11:00~12:45

場所:岡山理科大学 国際学術交流センター

出席者:社会長, 能城, 松下, 高原, 守田, 大井, 南木評議員; 江口庶務幹事, 樋泉広報・渉外幹事, 植村編集委員長, 西田編集副委員長, 半田行事委員長

1. 2003年度の事業報告および会計報告・会計監査報告(総会資料)を承認した。
2. 2004年度事業計画の幹事会案を審議した。主な案件は以下の通りである。
 - 1) 学会の規模と目的に則する役員体制づくりに向けて近い将来の会則改正を検討する。
 - 2) 2004年度総会での会費値上げ案提出を目指す。
 - 3) 会誌に掲載された論文の要旨をホームページに掲載することを検討する。
 - 4) ニュースレター3号を年末か年始に発行する。
 - 5) 「植生史研究」第12巻1・2号, 第13巻1号を編集・刊行する。会員からの投稿を促す。
 - 6) 第4期幹事会の組織を以下のように確定した。なお, 能城修一氏は評議員に選出されたが, 編集委員長に着任するため評議員を辞退した。これに伴い次点の松下まり子氏が評議員に繰り上げ選出された。

2003年度総会議事要録

日時:2003年11月30日11:30~12:10

場所:岡山理科大学 国際学術交流センター

議長:高原 光

1. 報告事項

1-1. 庶務

- 1) 会員動向:2003年11月28日現在, 名誉会員2名, 一般会員361名, 学生会員26名。
- 2) 第4期会長・評議員選挙を行なった。
- 3) 第19期日本学術会議会員(第4部)の候補者を推薦した。
- 4) 会員名簿を編集・刊行した。

1-2. 広報・渉外

- 1) 学会ホームページを開設した。
- 2) ニュースレター1号, 2号を編集・刊行した。

1-3. 編集

- 1) 会誌「植生史研究」第11巻第2号を刊行した。

1-4. 行事

- 1) 第17回大会を2002年11月16・17日, 福井県立恐竜博物館において開催した。

大会実行委員長:寺田和雄 大会実行委員:矢部淳, 半田久美子 参加者:97名

- 2) 第21回談話会を2003年5月31日・6月1日, 宮崎県東諸県郡綾町において開催した。

テーマ:「照葉樹林の植生観察会」

話題提供:南九州の森林植生の分布パターン—宮崎県の現存植生を中心に— 講師:河野耕三

世話人:半田久美子, 寺田和雄 参加者:14人

- 3) 第18回大会を2003年11月29・30日, 岡山理科大学において開催すべく準備した。

大会実行委員長:三好教夫 大会実行委員:守田益宗, 池田博, 寺田和雄, 清永丈太, 半田久美子

1-5. 会計

1) 2003年度決算報告

収 入	(円)
会費等	1,041,200
会誌売上	72,510
広告料	80,000 *1
17回大会準備金返金	100,000
18回大会補助金	50,000 *2
利息	1
収入合計	1,343,711
前年度繰越金	16,454
合 計	1,360,165

*1:名簿に広告を掲載

*2:岡山理科大学より第18回大会のために補助

支 出	(円)
会誌発行費 印刷費 11 (2)	325,500
印刷費：名簿	117,810
発送費 11(1)	22,655
発送費 11(2), 名簿	31,365
その他 案内状等郵送費	83,630
封筒・印刷代	92,400
事務経費	7,077
18 回大会補助金	50,000
18 回大会準備金	100,000
支出合計	830,437
次年度繰越金	529,728

2) 2003 年度会計監査報告. 「日本植生史学会 2003 年度収支の諸帳簿, 預金通帳および諸書類などを厳正に監査しましたところ, 適正に処理されていましたので報告します。会計監査：中静透

1-6. 第 1 回学会賞・第 1 回奨励賞の推薦

表彰規定に則って学会賞および奨励賞の審査委員会を設置し審査を行なった。その結果, 第 1 回学会賞に以下の 1 名の会員を, また奨励賞に以下の 1 件の論文を推薦することにした。

第 1 回学会賞 受賞者：鈴木三男

第 1 回奨励賞 受賞論文：吉田圭一郎・岡 秀一「小笠原諸島母島石門地域に残存する伐根から推定されるオガサワラグワの生態的特徴」, 植生史研究 第 9 巻：21-28.

2. 審議事項

2-1. 庶務

1) 2003 年度評議員会・総会を 2003 年 11 月 29 日 (土)・30 日 (日) 岡山理科大学において開催する。

2-2. 広報・渉外

1) ニュースレター 3 号を発行する。

2-3. 編集

1) 会誌「植生史研究」第 12 巻第 1 号・第 2 号, 第 13 巻第 1 号を編集し, 刊行する。

2-4. 行事

1) 第 18 回大会を 2003 年 11 月 29 日 (土)・30 日 (日) 岡山理科大学において開催する。

2) 第 22 回談話会を 2004 年 3 月関東においてワークショップ形式で開催する。

テーマ：植生史解明のための野外調査法その 1「ボーリング実習」(仮題)

3) 第 19 回大会を 2004 年 11 月 27 日 (土)・28 日 (日) に, 中央大学理工学部後楽園キャンパスにおいて開催する。

大会実行委員長：西田治文 大会実行委員：清永丈太
2-5. 2004 年度予算案 (2003 年 10 月～2004 年 9 月)

収 入	(円)
会費	1,136,000 *1
会誌売上	100,000
18 回大会準備金返金	100,000
収入合計	1,336,000
前年度繰越金	529,728
合 計	1,865,728

*1：2003 年 9/30 現在, 一般会員 362 × 3000 円 + 学生会員 25 × 2000 円で計算

支 出	(円)
会誌発行費 編集印刷費 12 (1)	420,000 *2
発送 12(1)	31,000
編集印刷費 12 (2)	420,000
発送 12(2)	31,000
編集印刷費 13 (1)	420,000
発送 13(1)	31,000 *3
その他 案内状等郵送費	110,000
ニュースレター印刷費	20,000
各賞賞状等	20,000 *4
郵送補助 (人件費)	56,000 *5
事務経費	180,000
19 回大会準備金	100,000
支出合計	1,839,000
次年度繰越金	26,728

*2：印刷会社イセブより, 60 pp., テキスト入稿, 印刷会社編集で税込 42 万円という見積をいただいた

*3：本来は, 2004 年度中に 13(2) まで出さなければならない

*4：賞状代・懇親会招待費

*5：8000 円×7 人日

賛成多数で承認された。

第 4 期日本植生史学会役員

(任期：2003 年 10 月 1 日～2005 年度大会)

会長：辻 誠一郎

評議員：百原 新, 鈴木三男, 植村和彦, 西田治文, 南木 陸彦, 山田昌久, 高原 光, 松下まり子

会計監査：大井信夫

幹事：江口誠一 (庶務), 斎木健一 (会計), 佐々木由香 (広報・渉外)

編集委員会：能城修一 (委員長), 紀藤典夫 (副委員長)

行事委員会：清永丈太 (委員長), 辻 圭子 (副委員長)

「植生史研究」投稿原稿送付先の変更

「植生史研究」投稿原稿の送付先が以下に変更になります。

〒305-8687 筑波農林研究団地内郵便局私書箱 16 号

森林総合研究所木材特性研究領域 能城修一
 電話：029-873-3211 ex. 574 Fax：029-874-3720
 E-mail：noshiro@ffpri.affrc.go.jp

学会ホームページ

URL：http://wwwsoc.nii.ac.jp/historbot
 ニュースレターとホームページに関するお問い合わせ先
 日本植生史学会 広報・渉外幹事 佐々木由香
 〒335-0016 埼玉県戸田市下前 1-13-22
 ビコーズ戸田 III 1F 株式会社パレオ・ラボ
 E-mail：sasaki@paleolabo.jp
 Tel: 048-446-2345 FAX: 048-444-7756

会員動向 (2003年10月～12月)

会員数 (2003年12月31日)：名誉会員2名, 賛助会員
 1社, 一般会員361名, 学生会員27名

新入会員 (2003年10月～12月分)

パリノ・サーヴェイ株式会社 (賛助)
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-5
 日産江戸橋ビル 2階 Tel: 03-3241-4566

安在皓 (一般)

東国大学校埋蔵文化財研究所
 韓国慶北慶州市錫杖洞 707 Tel: 82-54-770-2474

池崎 智詞 (一般)

(財) 東大阪市文化財協会
 〒579-8052 東大阪市上四條町 18-12 Tel: 0729-84-6341

井上 淳 (一般)

大阪市立大学理学研究科人類紀自然学教室
 〒558-8585 大阪市住吉区 3-3-138 Tel: 06-6605-2592

片村 文崇 (学生)

北海道大学低温科学研究所気候変動分野博士課程
 〒060-0819 札幌市北区北 19 条西 8 丁目
 Tel: 011-706-7185

杉山 玲子 (一般)

東京薬科大学薬学部薬用植物学教室
 (自宅) 〒272-0823 千葉県市川市東菅野 1-23-3
 Tel: 047-333-6978

中川 寧 (一般)

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
 (自宅) 〒690-0823 松江市西川津町 3278-46
 Tel: 0852-22-7220

吉田 利香 (学生)

日本大学大学院総合基礎科学研究科地球情報数理科学専
 攻博士課程前期
 (自宅) 〒168-0064 東京都杉並区永福 4-31-4
 Tel: 03-3325-5083

退会会員

西田史朗

(編集：広報・渉外幹事 佐々木)